

整理番号 A009707917

発送番号 038891

発送日 平成17年 2月 8日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成10年 特許願 第000350号
起案日	平成17年 1月31日
特許庁審査官	五十嵐 努 9474 5R00
特許出願人代理人	鈴江 武彦（外 6名） 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由1について

(1) 本願の請求項4の記載では、「プロトコル処理手段」が「第1のネットワークインターフェイス」および「依頼手段」とどのような技術的関連にあるのかが明確でなく、また、上記「プロトコル処理手段」は直接「第2のネットワーク」に物理的に接続するための手段である可能性もあり、構成が不明瞭である。

(2) 本願の請求項 5 に記載の「前記別の通信装置を介して」は、「前記さらに別の通信装置を介して」の誤記である。

(3) 本願の請求項 7 の記載では、「前記コンテンツ情報」に対応する「コンテンツ情報」が存在しない。また、「別の通信装置」と通信することが、「コンテンツ情報」とどのように技術的に関連するのかが明確でない。

この点は請求項 7 以下の請求項 8 ～ 12 に関しても同じことが言える。

理由 2 について

請求項 1 ～ 12 について 参考文献 1

参考文献 1 にはコネクションレス型網とコネクション型網とを接続するゲートウェイ処理システムが記載されており、本願の請求項 1、4 に係る発明と参考文献 1 に記載の発明とは、表現上の差異はあるものの、ほぼ同様の動作をしており、参考文献 1 に記載の発明から本願の請求項 1、4 に係る発明の構成を導くことに格別の技術的困難性は見出せない。

請求項 2、3、5 ～ 12 に係る発明は、当業者が要求仕様に応じて適宜設計変更し得る程度の事項である。

請求項 13、14 について 参考文献 1 ～ 3

ソフトウェアのライセンス管理を行うサーバは周知であり（参考文献 2、3 等参照）、どのような場合に当該サーバへアクセスするようにさせるかは、当業者が要求仕様に応じて適宜設計変更し得る程度の事項である。

また、上記ライセンス管理を行うサーバへのアクセスには、アドレス情報が必要なことは自明であり、これを記憶させる手段として、ライセンス管理を行う対象であるコンテンツ情報が蓄積されている媒体を選択することも、当業者が容易に想到し得る。

引用文献等一覧

1. 特開平 8 - 111693 号公報
2. 鈴木信夫, ネットワーク時代のライセンス管理、ライセンス・サーバが切り札に, 日経エレクトロニクス, 日本, 日経 B P 社, 1990 年 11 月 26 日, 第 157 - 163 頁
3. 特開平 9 - 319571 号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 G 0 6 F 1 3 / 0 0 G 0 6 F 1 5 / 0 0

・先行技術文献

特開昭 6 4 - 2 3 6 4 6 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部インターフェイス 五十嵐 努

T E L . 0 3 (3 5 8 1) 1 1 0 1 内線 3 5 6 5

F A X . 0 3 (3 5 0 1) 0 7 3 7